



# コミュニティ しずおか

2020  
**10**月  
No.160



左：ザリガニ池でドロまみれになり遊ぶ 右上：田んぼに丸木橋をかける 右下：田植えの1コマ

## みんなで森や里山を守ろう! NPO法人DIGtag (湖西市)

▼NPO法人DIGtagは、湖西市新居町の三十ヶ谷の森を拠点に青少年育成や自然保護・保全、観光ガイドの活動をしている会員20人、平均年齢30歳の有志からなる団体。

▼活動の一つ「三十ヶ谷家族会」は、平成26年、閉鎖された浜名湖ユースホステルの放置された森や里山を復活させようと、浜名湖YHに勤務していた佐々木代表が仲間呼び掛け発足。毎月第1日曜日に、三十ヶ谷の森を遊び場として育った地域の大人たちが集まり、家族ぐるみで草刈りや木々の剪定等をはじめた。今では子どもから大人までが関わり、豊かな森作りのための植樹やザリガニ池の浮き橋づくり、歩道作りなどを行っている。毎月集まり整備することで、家族連れや子どもたちが遊び場として訪れるようになり笑い声が響く森へと変化し、自然遊びができる学びある里山になった。

また、周辺市町の小学生を対象にした「野遊び塾」は、夏は川や湖、冬は森を教室に子どもたちが遊び・学び・育つ総合学習。野遊び塾の卒業生には、サポーターとしてその後一緒に活動している子もいる。

▼「自然をテーマに地域の方と一緒につながれる場づくりができた」と佐々木代表。今年はコロナにより資金繰りが大変な部分もあるが、「子育て」「自然」「まちづくり」で未来(子ども)へ種まき、水撒きをモットーに活動を続けていく。

◇代表:佐々木善之さん (問合せ・080-6970-0005)

【情報提供・寺田敏幸】

## Topics トピックス

クローズアップ ..... P2  
地域をつなぐコミュニティカフェ推進中!(三島市)  
新型コロナアンケート結果..... P6



コミック  
のじぶき・りえ

創意工夫や新しい手法を活かしている団体を紹介します。

## クローズアップ



スタッフのお孫さんが折り紙の講師となって登場。豆講師のハサミさばきを見守る

# 「地域をつなぐコミュニティカフェ 推進中！」 ～コロナ禍にも上を向いて一歩ずつ～

三島市

## 新谷コミュニティカフェ “<sup>はな え み</sup>花笑み”

8月、まだ新型コロナウイルスの影響で活動が自粛されている中、三島で7月から活動が再開されている団体があるとの情報があり、富士山の湧水が集まる中郷温泉地の南に位置する新谷地区で、地域住民の交流の場として産声をあげ今年で6年目を迎える団体取材した。

### 市の地域サポーター講座を受講したことから

会場の入り口で検温や消毒をしてから、取材開始。まず、グループ名“花笑み”は、俳句の季語「花笑う」。花が咲いたように優しく笑うという意味から命名されたとのこと。（たしかに、メンバーの方々の笑顔がすばらしかった）

きっかけは、民生委員だった初代会長の武藤さんが、地域の老人会にかかわる居場所を作りたいと思ったことから



東海バス協力のもとバスの乗降についてのお勉強会

仲間呼び掛けのそうだ。活動を始めるにあたり、市の地域サポーター養成講座を1ヶ月半受講していただき、スタッフの足並みをそろえてからのスタートとなった。

## 地域の人たちに参加してもらうには ～多才な人たちを講師に

毎週水曜日は介護予防体操、土曜日はコミュニティカフェ。隔週日曜日にノルディックウォークを開催。コミュニティカフェの参加料は、お茶代100円、お昼代300円（必要な人のみ）。合唱・民謡練習や句会、小物づくり、おしゃべりフリータイムを実施。時には学びの場としても意識し、第2土曜日には、地域内外の多才な人に講師になっていただき、午前には講話を午後は句会を開催。（この方ならお話ができるはず!と判断したら、時間を置かないで声をかけることが秘訣とのこと）せっかくできた縁を切らないように講師の方に声を掛け、カフェの利用者になっていただくそうだ。

会場は、市の障がい者支援施設を自治会が借り受けたものを使用。感謝を込めて施設利用者の方と一緒にバザーで販売する紙バンドの籠を作り、その売り上げを施設に全額寄付している。

多い時で週3になる活動。女性スタッフ12人が2つの班に分かれて活動を分担。欠席した人にもわかるよう丁寧に日誌を付けている。そして、毎月発行している「花笑みニュース」。この8月で58号となる紙面には、「新谷の今昔」と題する講話の紹介や句会の句と今後の予定が載っていた。花笑みを知ってもらうため、回覧板で回しているとのこと。

## これからも継続することで支えあい 住みやすい地域を

新谷で存在感を増す花笑みだが、最近はスタッフの高齢化が悩みでもあるそう。「これからは利用者とスタッフが助け合いながら、楽しい時間を過ごせるように花笑みの内容も変化させたい」そうだ。取材に同席してくれた方々に活動を続けてきて良かったことを聞くと「生活で忙しい時でも、ここで活動すると息抜きになる」「ここに来ることが楽しみだと言ってくれる」「考えてきたなぞなどを出題している時のみんなの様子が楽しい」「自分でできる最高の挨拶・声かけができる場」等の声を聞くことができた。



敬老会で披露する合唱を半年前から練習している

7月から毎週土曜日のカフェのみ再開。消毒や検温は勿論。ティーカップで出していたお茶は紙コップに替え、お昼提供停止にした。3月にコロナの影響で活動がストップしてから再スタートするまで、「花笑み」とは何かを自問自答したという会長の風間さん。花笑みのおかげで充実した日々を送ることができていたことに気づいたという。


「災い転じて福となす」、今までの活動を振り返り、更なる実りを期待したい。

花笑みニュースに素晴らしい一句を見つけた。  
『へこたれし 心の晴れる 夏の空』（上を向いて、一歩踏み出せそうです）



手前右：西村さん 左：武藤（藤）さん  
奥右から：風間会長、小林さん、風間（静）さん、武藤さん

◇代表：風間節子さん（問合せ・055-975-2253）

 レポート・高村 光 編集委員



# まちからむらから



下田市

## 楽しく触れ合い車いすダンス

NPO静岡県福祉  
レクリエーション連盟下田支部



市社協のイベントで、ダンスのデモンストレーション

▼車いすの方や高齢者の方々に、健常者と同じようにダンスを楽しんでもらおうとボランティア活動に励んでいる団体。毎月第1日曜日に練習し、施設への慰問やイベントへの出演をしている。現在会員21人、平均年齢75歳で踊りが好きボランティアも好きな方が楽しく活動をしている。

▼下田市と西伊豆町の高齢者施設での慰問活動は、入居者の方と手を触れたり肩をたたきあったり、時には車いすを動かしながら一緒に踊る。初めは少し照れくさそうな方も、自分が知っている曲が流れると会員に合わせ身体や手がリズムカルに動き、笑顔が見え笑いに包まれる。もっと車いすダンスをPRしたいと思っているが、撮影が苦手な方も多く大々的にPRできない歯がゆいところもある。

▼コロナにより慰問活動が来年まで止まってしまったが、いつ再開してもいいよう練習は続けている。「多くの施設に笑顔を届けるために今後も活動を理解していただけるように頑張ります」今年85歳の鈴木代表は言う。

◇代表：鈴木道明さん(問合せ・0558-22-2150)

【情報提供・増田信隆】

裾野市

## 悩みを抱えている親子の方の道しるべ

一般社団法人ミチシル

▼裾野駅東口から徒歩1分の住宅に、色々な理由で不登校になっている子どもたちが安心してその子らしくいられる「ふりーすくーるミチシル」(月～金10～16時)が開設した。▼代表のお子さんが不登校になった際、この辺りには子どもが「勉強をする場」はあるが集える「交流の場」が無かった。そこで無いなら作ろうと発起し、多くの方の支援を受けながら、令和元年6月にフリースクールを開設。現在、13人の子どもたちが在籍し、季節の行事やイベントを手作りで楽しんでいる。

たとえ嫌なことがあっても「ミチシルに行きたい」という気持ちが勝っていれば通ってくる。ここが「居場所」になれば、人との関係も良くなる。その為には、迎えるスタッフの研鑽にも留意し活動が続いている。

▼悩みは、「ミチシル」が知られていないこと。必要なところへどうアプローチしていくのが課題である。

※お兄さんの存在の若い男性スタッフを募集中。親の悩みを共有する「道しるべの会」も開催しています。

◇代表：加藤照美さん(問合せ・080-4300-5165)

【情報提供・志田忠弘】



ミチシルは安心できる居場所

藤枝市

## コロナに負けない、工夫を凝らして開催予定

大洲自治会



今年は、3密になる競技を中止

▼藤枝市大洲自治会(世帯数3508)では、62年間に渡り学校区全地域の運動会「ふれあいスポーツの集い」を開催している。特別支援学校生徒の演奏をバックに選手団の入場行進に始まり、手作りの聖火を使った聖火リレー等を盛り込み、幼児から高齢者まで幅広い年代の参加がある。

▼大洲中学校生徒がボランティアとして運営に携わっており、大会スローガンも中学生から募集。今年は「コロナ禍でもくじけず前を向き大洲地区の「つながりの大切さ」を見直そう」に決まった。

▼歴代役員と住民の努力により、住民の交流の場として定着している運動会だが今年では中止の声も上がった。しかし、コロナで地区行事の自粛が続く、地域の連帯感の低下が漂う空気に危機感を感じ、どうすれば出来るのか、何をすれば安心を得られるかを考えた。今年は半日に時間短縮。開催2週間以内に都内に行かれた方の参加はご遠慮いただく。幼児の種目と綱引きや玉入れ等3密になる競技は取りやめリレー競技を中心に10月18日に開催することにした。状況によっては中止になるが、コロナに負けない気持ちで計画を進めていく。

◇自治会長：小林一男さん

【情報提供・荻野大輔】



島田市

## コロナウイルスを突き飛ばす

伊太・相賀  
ふれあいクラブ



スタッフも利用者も再開を喜んだ

▼去る7月10日、北部ふれあいセンターにて高齢者の健康づくりを行うふれあいクラブが開催された。コロナ感染予防のため3月から中止になっており「どこにも出ず家に居た」「参加できてうれしいっけよ～」と4か月ぶりの再会にみんなの顔が緩んでいた。

▼会は町内会役員やボランティアの28人で運営している。「気を付けながらやろう」と7月再開に向けて、市への相談やスタッフで感染予防対策を協議し、活動を半日に短縮、イスの消毒、換気用に扇風機を購入した。

当日は全員が検温、消毒しマスク着用をしてから2階へ上がり受付。一定の間隔で配置した椅子に着席後聞き取り調査。ドアも開放し3密対応もバッチリ決め足腰の運動やじゃんけんゲームなどを交えた健康準備体操で30人が身体をほぐした。

▼平成9年、当時のセンター長の一声で始まった活動も今年で23年目を迎える。長く続いているコツは「無理をしないで自分たちも楽しむこと」だそうだ。

◇代表：増田文男さん

【情報提供・池田 弘】

浜松市

## 地域活動に関わる喜びを実感しながらまちおこし

宮口まちおこしの会

▼浜北区の北西部に位置する宮口地区(1735世帯)。昔は庚申寺の門前町、秋葉街道の宿場町として栄え、古くからの町屋が残っている。同会は、平成9年に歴史を生かしたまちづくりに取り組み「宮口に住んでよかった、これからも宮口に住みたいという気持ちを後世の子どもたちに残し伝えたい」と有志で結成した。現在会員70人。

▼組織体制は、会長、副会長、会計・監事を配置の他、しらべ隊、まなび隊、あそび隊、しらせ隊、天浜線たのしみ隊があり、各隊による個別の活動体制で、宮口駅前の清掃や花壇整備、歴史探索ウォーキングの開催、天浜線サポーターズクラブ、勉強会、情報誌の発刊、各イベントでのお手伝いなどの活動を行っている。イベントでの売り上げは活動資金に充てている。

▼昨年には、宮口に残る小字を紹介した冊子を全戸配布した。今後の活動の柱として今まで調査した宮口の歴史・文化・自然の宝を、地域住民に還元できる活動をしたい。

◇代表：太田富次郎さん(問合せ・053-582-2925)

【情報提供・佐藤勝彦】



地元初庚申大祭ではおでんを出店し、大好評

### 地域活動情報

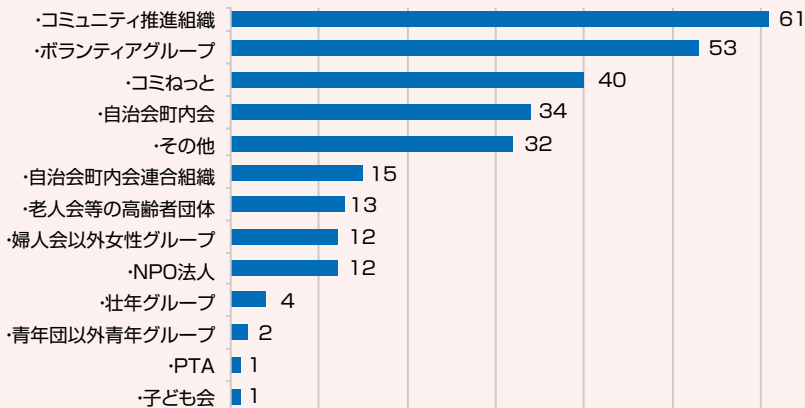
この詳細はホームページでご覧になれます (アドレス <http://www.sizcom.jp>)

No.	市 町	活 動 名	主 催 者	趣 旨・目 的	月 日
1	沼津市	ホテルの里づくり	門池地区 ホテルの里づくり推進協議会	10年後の門池が豊かである為に、門池周辺の環境改善を通して、明るく住み良いまちづくりを目指す。	通年
2	函南町	最後まで自分の足で	ダイヤモンド はつらつ体操クラブ	高齢化の高い地域であるため、介護予防の観点から体操の指導を受ける場として発足。	月2回
3	富士宮市	羊(原毛)からニット作品の出来るまでを学ぶ	馬飼野牧場ウール倶楽部	地元で育てられた羊の毛を用いてヨーロッパに伝わる伝統技法による編み物を地域の文化としての拠点とする。	月2回 第1金、土曜日
4	磐田市	戦後平和の原点となった鮫島住民の歴史を後世に語り継ぐ	緑十字機不時着を語り継ぐ会	戦後平和の原点となった緑十字機不時着と鮫島住民の支援の歴史を後世に伝える。	イベント 毎年8月20日

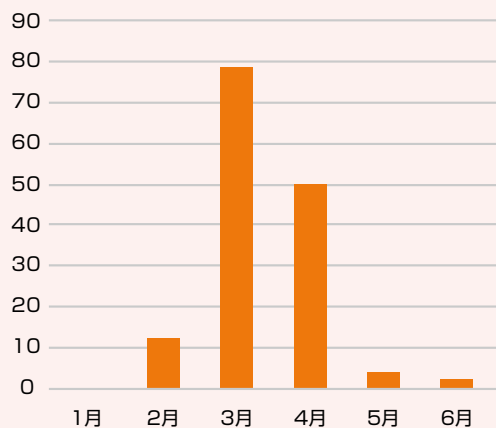
## 新型コロナウイルス情勢下における地域活動の状況について

調査期間:令和2年7月1日～7月31日 対象:コミねっと会員(391人)他 地域活動団体 全470件 有効回答数280件

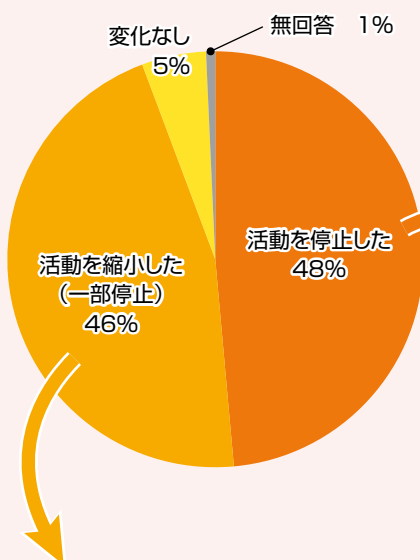
### 1 回答者の所属先



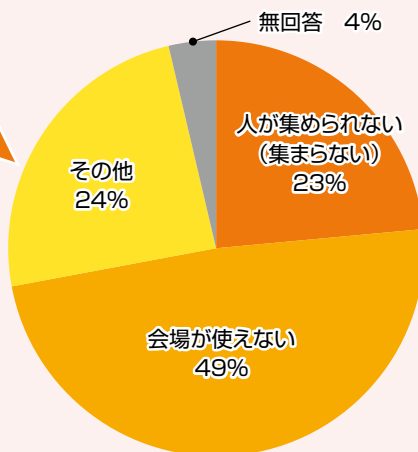
### 2-1 いつ頃から停止しましたか



### 2 新型コロナの影響により活動頻度は変化しましたか。



### 2-2 停止の理由は何ですか



1月中旬 WHO新型コロナ確認  
 2月下旬 県内で患者発生  
 3月上旬 小中高の臨時休校始まる  
 4月中旬 緊急事態宣言発令  
 5月初旬 緊急事態宣言延長  
 6月 東京アラート発令

市町からの停止依頼、  
 地区センターの閉鎖等、  
 「会場が使えない」回答  
 が多いね

### 3 縮小した活動とその理由



イベントや室内活動(居場所)は中止。屋外での作業(美化・清掃)は人数を調整しながら比較的継続されているよ。  
 定例会などは役員のみもしくは、書面決議で対応しているね。

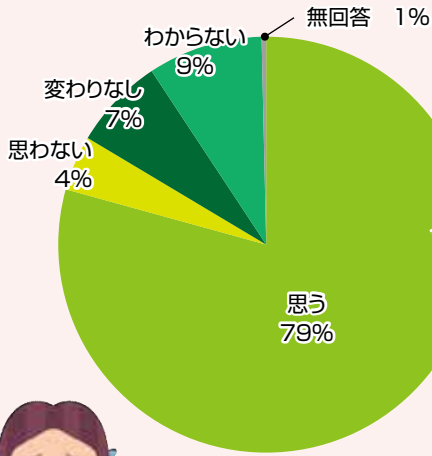


### 活動を縮小した方にお聞きした。活動を継続するにあたり工夫したこと教えてください

回答のあった67件のうち、40件近くは「3密」「ソーシャルディスタンス」「消毒」による自衛手段についての回答でした。

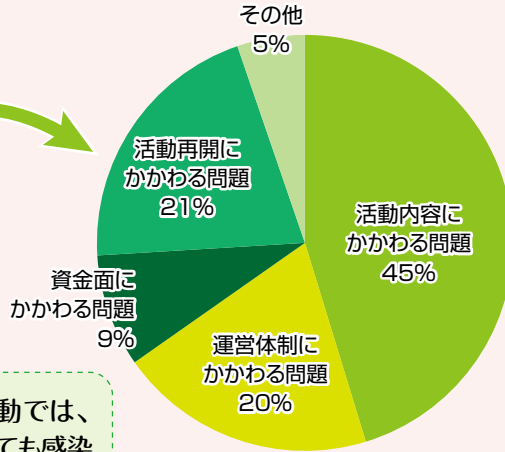
- 手作り弁当の配食はやめ、**弁当を外注し配食した。**
- 人が集まる講座ができない分、**地域防災の内容の見直しや防災用品の見直し、防災地図の見直し**をしている。
- **回覧回数を増やした。**
- 役員会の再開にあたり、区民会館のすべての窓に**網戸を設置。全開しての開催。**
- 訪問業務を**電話での安否確認に変更。**
- 講座等**定員の縮小。**ウォーキング等**目的地のコロナ発生地外への変更**

#### 4 新型コロナによって地域活動に影響があると思いますか。



高齢者層が主に活動する地域活動では、3密、ソーシャルディスタンスを守っても感染の不安が残ることが回答に表れているね。

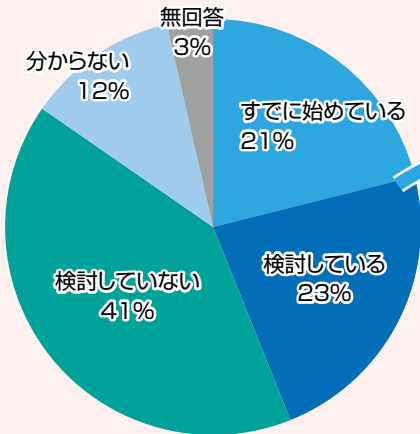
#### 5 今後の運営に関する困りごとは何ですか



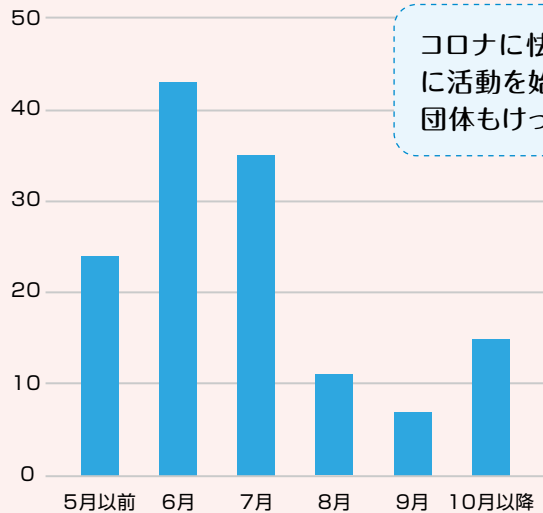
「自粛生活が長引きやる気の低下」「ボランティアの人も感染を恐れて欠席する人が多い」などの意見があったよ。



#### 6 新型コロナを機に所属団体で新たな取り組みを始めている、始めることを検討していますか



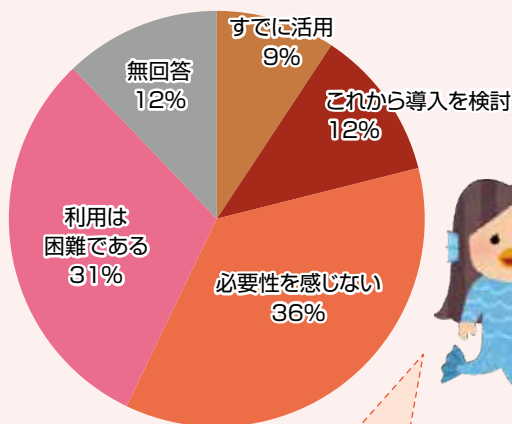
#### 6-1 いつから始めた、始めることを検討していますか



コロナに怯まず、前向きに活動を始めた、始める団体もけっこうあるね。



#### 7 インターネットを利用した会議について



地区内(すぐ会える距離)での活動だから必要を感じないのかな?「利用は困難である」の理由には「高齢者である」が圧倒的回答数だったよ。「顔を合わせて話し合うことが重要」というご意見も。活用しているツールは、ZOOM17件、LINE7件、Facebook1件、Teams1件だよ。

#### 新たな取り組み内容について教えてください

- 今の里山を紹介する**動画を作りYoutube配信し**、中止になったイベントの代わりに楽しんでもらう。
- 生活苦にあえいでいる方に、**フードライブ**を行い、社協を通して配っている
- 屋内の活動をやめ、**野外活動を短時間で開催**。運営面でもリーダー間の連絡も**オンラインに切り替えた**。
- 行事の**見直し**
- 研究会の**HPの新規立ち上げ**と活動内容の明確化見えるかの資料作成
- 地区、世帯に**アンケートを全戸配布**。現状までの**活動の評価と今後の要望を問う**。
- 役員がお弁当を作り、**見守りかねて全員を訪問し**困りごとを訪ねて回る(月1回)
- 夏祭りや校区祭を**中止した代わりに大岡地区ウォークラリー**開催を企画中
- **ウイズコロナの時代に合ったコミュニティ活動テーマの募集**をしようと思っている。

# コミニ一家



地域活動に関心のある方へ!

## 募集します

※お問い合わせ、お申し込みは当協議会へ

### ★アフター研修会と西部支部研修会を合同で開催します!

「つなげる地域活動 次世代へつなげる地域活動」

日時: 11月2日(月) 10:00~15:30

会場: 掛川市たまりな 参加対象者: 地域活動に興味のある方

参加費: 無料(昼食代800円で幹旋)

※申込み締切 10月20日(火)

★プログラムについてはHPをご覧ください。

### ★コミュニティ活動賞募集中!!

#### 応募の対象と条件

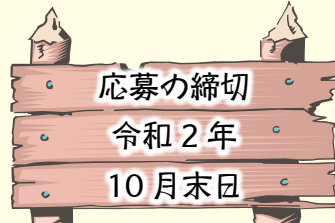
- 1、今日的な生活課題、例えば、地域の活性化、高齢者問題や子育て支援、自然環境の保護・保全などの快適な生活環境整備、青少年の健全育成、ゴミ減量やリサイクル活動、国際交流などのテーマに取り組み、生き生きとした明るい地域社会の形成に向けて活動しているもの。
- 2、活動(組織)が発足して、1年以上を経過したものとします。  
コロナの影響により、本年度創意工夫されている活動も対象とします。
- 3、中学校区の範囲を越えない区域を原則としますが、一定の範囲の区域で活動することを規定している団体であれば対象とします。
- 4、過去5年間(平成27年度以降)にこの「コミュニティ活動賞」で優秀賞、優良賞を受賞された地区集団については、本年度は応募できません。

#### 賞

- 優秀賞……賞状と副賞3万円
- 優良賞……賞状と副賞1万円
- 奨励賞……賞状

#### 発表

令和2年12月初旬(応募者に直接通知します)



### コミュニティ活動集団 4団体を追加指定

■居場所「ふれんどカフェ」(御殿場市)

■チームおもしろ五和駅(島田市)

■わくわく学習会(菊川市)

■磐田市南地区地域づくり協議会  
みんなでラジオ体操(磐田市)

### ★コミュニティづくりの基礎、話し合いの仕方を学んでみませんか

○出張コミカレin袋井 11月7日(土)、14日(土)

会場: 袋井南コミュニティセンター

対象者: 袋井市とその周辺市町にお住まいの方、コミュニティづくりに興味のある方

★プログラムについてはHPをご覧ください。

○出張コミカレin駿東 11月28日(土)、12月5日(土)

会場: 裾野市生涯学習センター(ゆうあいプラザ)

対象: 裾野市、御殿場市、小山町とその周辺市町にお住まいの方、コミュニティづくりに興味のある方

★プログラムについてはHPをご覧ください。

